

文化プログラムの推進について

1. 「東京 2020 参画プログラム」および「beyond2020 プログラム」の認証促進

平成 28 年 10 月 東京 2020 参画プログラム一部先行開始（滋賀県主体登録）

平成 29 年 1 月 beyond2020 プログラム開始

平成 29 年 7 月 東京 2020 参画プログラム開始（市町等関係団体に周知）



東京 2020 参画プログラム

組織委員会が認証する事業で非営利団体が主催のものに限る



beyond2020 プログラム

国等が認証する事業で営利団体を含むあらゆる主体が主催可能

【滋賀県内における主な認証事業】

事業名	主催者	会 場	会 期	参	b
特別企画「十人陶色一豊かな色の世界」展	県立陶芸の森	同左	H29.6/20～9/24		○
琵琶湖周航の歌 100 周年記念式典	滋賀県	高島市民会館等	H29.6/24	○	○
第71回滋賀県美術展覧会	滋賀県芸術文化祭実行委員会	文化産業交流会館	H29.8/13～8/19	○	○
彦根城築城 410 年記念演奏会 イル・デーヴ with OEK	NPO 法人ひこね文化デザインフォーラム	ひこね市文化プラザ	H29.9/9		○
ぴかっとアート展	滋賀県	イオンモール草津	H29.9/16～12/10	○	○
大津・ルーツ・ジャパン	びわ湖大津観光協会	三井寺、日吉大社等	H29.11/5～12/3		○
さくらジュニアオーケストラ第8回 定期演奏会	栗東芸術文化会館さくら	同左	H29.11/19		○
びわ湖☆アートフェスティバル	滋賀県他	びわ湖ホール	H29.12/23		○

※平成 30 年 1 月末時点で参画プログラム 24 件、beyond プログラム 109 件が認証

2. 文化プログラム推進事業の実施

①琵琶湖周航の歌 100 周年記念式典(平成 29 年 6 月 24 日(土)) 参加者 900 名

第 1 部 (高島市民会館)	「ひつじぐさ」合唱、講演「琵琶湖の自然と文化を詠む」 (篠原徹氏)、『琵琶湖周航の歌』～100 年歌い継がれてきた魅力～(飯田忠義氏)、「琵琶湖周航の歌」合唱
第 2 部 (琵琶湖汽船ビアンカ)	ミニコンサート、「琵琶湖を楽しむスポーツのススメ」(伊勢田愛氏、小原隆史氏、杉藤洋志氏)、琵琶湖博物館・近代美術館 WS、名産品販売コーナー

②次世代芸術フェスティバル

参加者 6,600 名

学校にアートがやってきた！	若手芸術家による小学校でのワークショップ、作品展示等 ・湖南市立菩提寺小学校(9 月 26 日(火)～29 日(金)) ・大津市立下阪本小学校(11 月 20 日(月)～22 日(水)) ・守山市立中洲小学校(11 月 21 日(火)～12 月 1 日(金))
次世代文化賞受賞者展	次世代文化賞受賞者 2 名の作品展およびワークショップ (10 月 6 日(金)～15 日(日) 会場:草津クレアホール)

びわ湖☆アートフェスティバル@びわ湖ホール	県内ジュニアオーケストラ・滋賀洋舞協会・県内高校合唱部の共同舞台、県高校総合文化祭演劇優秀校の公演、打楽器セミナー受講生の演奏会、次世代文化賞受賞者コンサート、びわ湖ホールロビーコンサート、アートフリーマーケット、近代美術館 WS、ホストタウン関連 WS
-----------------------	---

(12月23日(土) 会場:びわ湖ホール)

3. 第1回滋賀文化プログラム推進会議の概要

- 開催目的:

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの推進にあたり、文化、スポーツ、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野の多様な主体が連携して、文化活動の一層の活発化と地域の活性化に向けて取り組むことを目的として開催。

- 日時:平成30年2月8日(木)14:00~16:30

- 場所:コラボしが21 3階大会議室

- 出席団体:庁内関係課、市町、県・市町教育委員会、文化施設、大学、文化団体、経済団体、福祉団体、農業団体、文化庁等

- 議題:

(1) 文化プログラムについて

- 「東京2020参画プログラム」および「beyond2020プログラム」の概要を説明するとともに、県における認証や取組の状況を報告。

また、県の平成30年度予算案における文化プログラム関連事業を説明。

(2) 事例発表

- 文化プログラムを推進するにあたり、今後の取組の参考となる事例発表および意見交換を実施。

① 大津・ルーツ・ジャパンについて [(公社)びわ湖大津観光協会]

- ・ 大津京遷都1350年という機会を捉え天智天皇ゆかりの神社仏閣で音楽や映像を活用した文化イベントを開催

② 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた文化振興事業(案) [守山市]

- ・ トルコとのホストタウンの枠組みを通じた取組として、ルシオール・アートキッズフェスティバルの活用や小学校との連携によりトルコとの文化交流を推進

③ 湖北アール・ブリュット展推進会議の取組について

[湖北アール・ブリュット展推進会議]

- ・ 福祉施設や地域住民等との連携のもと、歴史的な景観を残すまちなかにアール・ブリュット作品を展示

(3) 滋賀県文化プログラム取組方針(素案)について

- 文化プログラム推進の枠組みや方向性を共有しながら、機運醸成を図り、県全体で一体的・効果的に文化プログラムを推進するための「滋賀県文化プログラム取組方針」(素案)について説明するとともに意見交換を実施。

4. 滋賀県文化プログラム取組方針の検討

平成 28 年 3 月	(仮称)滋賀文化プログラム(素案)を県議会常任委員会に報告
平成 28 年 8 月	文化審議会において議論
平成 28 年 11 月	県内全市町の担当者と意見交換
平成 29 年 2 月	文化審議会において議論
平成 29 年 3 月	文化プログラムの取組状況を県議会常任委員会に報告
平成 29 年 6 月	庁内関係課、関係団体、文化庁等と意見交換

【主な意見】

- ・滋賀は遺産など良いものを持っていても発信につながっていない。観光や広報など県の様々な部局を横断させて取り組むことが重要。
- ・最近取り組んでいるコミュニティツーリズムは文化プログラムにもつながる。
- ・ラ・フォル・ジュルネ(平成 30 年度からは「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」)では、市町と連携した取組を予定している。
- ・学生がチームを組んで連携して事業を展開するのも面白いのではないかな。

平成 29 年 11 月	文化審議会評価部会において議論 ロンドン大会における文化プログラムの仕組みやスコットランドにおける具体的な取組(音楽活動を通じた子どもたちの社会包摂活動)の紹介等。
--------------	---

平成 29 年 12 月	滋賀文化プログラム推進準備会議を開催(関係課、県立文化施設、(公社)びわこビジターズビューロー、県立大学、市町、文化庁)
--------------	--

【主な意見】

- ・市では認証にもまだ十分取り組めていないので、今後取り組んでいきたい。
- ・市内の文化団体と話し合いを進めており、バックアップをしていきたい。
- ・beyond2020 プログラムなどに登録するだけでなく、それを生かす必要がある。市だけでは発信力が弱いので県全体が良くなるよう議論をしていきたい。
- ・これから東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ関西 2021、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けての 7 年間は滋賀が一つになっていくチャンス。
- ・インバウンドを見据えて少しとんがった大型のストーリーを描いてはどうか。トータルとして滋賀は何を発信したいのかというところが大切。
- ・環境や観光の切り口で滋賀らしい文化プログラムの取組を打ち出してもらえると良い。
- ・民間企業からサポートしてもらえるように考えていくのがよいのではないかな。

滋賀県文化プログラム取組方針(骨子案)について、庁内・国・市町・県立文化施設等に意見照会

平成 30 年 1 月	県議会常任委員会、特別委員会に取組方針(骨子案)を説明
-------------	-----------------------------

平成 30 年 2 月	第1回滋賀県文化プログラム推進会議を開催
-------------	----------------------

滋賀県文化プログラム取組方針(素案)について、庁内・国・市町・県立文化施設・経済団体・大学・芸術文化団体・福祉団体・農業団体、文化審議会等に意見照会

【主な意見】

- ・情報発信におけるSNSの役割は重要。びわ湖FreeWi-Fiを記載すべき。
- ・今後の取組の中で県、市町、関係機関・団体が連携、協力して効果的に推進できる方策の検討をお願いしたい。

5. 今後の予定

平成 30 年 3 月	県議会常任委員会、特別委員会 滋賀県文化審議会 滋賀県文化プログラム取組方針策定
4 月～	滋賀県文化プログラム取組方針に基づいた取組の実施

